

先輩労働基準監督官からのメッセージ



香川労働局高松労働基準監督署
阿部 波留香
令和5年度任官（A監）

Q：労働基準監督官を志望した理由は？

両親が労働基準監督官と一緒に仕事をする機会のある職に就いていて、就職活動が始める以前から労働基準監督官には興味を持っていました。長い人生の中で多くの人が「働く」という経験をしますが、そういった沢山の働く人の安全・安心や健康を守るという仕事内容にとっても魅力を感じたので志望しました。

Q：任官してからイメージは変わりましたか？

公務員といえばデスクワークでずっと座っている印象がありましたが、監督官は建設現場へ行ったり会社へ行ったりと外に出る業務が多くあり、イメージが変わりました。また、監督指導で突然事業場を訪れた際に怒鳴られたりすると聞いていましたが、ほとんどの事業場が協力的で丁寧に対応して下さったことに驚きました。

Q：選考試験や採用面接で心がけたことは何ですか？

筆記試験は、まず基礎である教養科目をしっかり勉強してから、専門記述などの専門的な科目を対策しました。面接は何度も家族や学校の先生と一緒に練習を重ねました。また、労働局主催の説明会にも足を運んで、実際の職場の雰囲気を知り、自分が将来働いているイメージをつかんでから試験に挑みました。

Q：初めての職場の雰囲気は？

社会人経験のない私に、周囲の方がとても優しく接して下さったのが印象に残っています。些細なことでも快く相談に乗って下さるので、のびのびと楽しく働いています。女性や年の近い職員も多いので、なんでも相談しやすい雰囲気です。

Q：先輩職員は仕事を教えてくださいか？

とても丁寧に的確なアドバイスをくださいます。作業の手を止めてまで私のために資料を探してきて下さった先輩もいて、私も後輩ができたならそんな先輩になりたいと思っています。また、上司や先輩のほうから声をかけて下さるので、一人で仕事を抱え込むことはありません。

先輩労働基準監督官からのメッセージ



Q：中央研修（前期）を終えた感想は？

最初は集団生活に不安がありましたが、過ぎてみるとあっという間で、濃く充実した研修期間でした。講義だけでなくロールプレイングや実習もあるので、必要な基本的な知識や技術を十分に修得することができました。また、同期と互いに刺激し高め合うことが、これからの仕事のモチベーションアップにも繋がっています。

Q：将来どのような監督官になりたいですか？

公正・公平でありながらも、労使双方の話をよく聞いて、丁寧な説明と適切な判断ができる監督官になりたいです。また、多くの人に労働基準監督官について知ってもらい、将来私のような労働基準監督官になりたい！と思ってもらえるような監督官を目指しています。

Q：ワークライフバランスはとれていますか？

月に1日以上有給休暇の取得が推奨されており、土日と有給をつなげて旅行に行ったり、趣味のバイクに乗ったりしています。7月には夏季休暇を取得して海外旅行に行く予定もあり、プライベートも充実しています。

Q：労働基準監督官を目指す皆さんへ

私はこれまで法律とは無縁でしたが、それを不安に思う必要はありません。監督官の仕事は幅広く、得意分野を生かしつつ、多様な業務に従事することができます。労働者の健康と安全・安心を守ることは責任も大きいですが、魅力的な仕事です。監督官になりたいという強い気持ちのある皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！

